

# 前回(第22回)のご質問への回答について

関西電力株式会社



# 緊急避難的な繰延べの実施判断について

- ✓ 緊急避難的な繰延べの実施判断にあたっては、リスクマップを活用し、検討対象の業務・工事を約1,400件名に分類の上、リスクが顕在化した場合の社会・事業運営への影響度と、その発生可能性の両面で評価しております。
- ✓ 例えば、公衆災害や大規模な供給（発電）支障に繋がる可能性が極めて高いと判断した工事は実施しておりますが、低稼動火力機の補修工事や変圧器の漏油修繕工事など、供給支障への影響度が相対的に小さいと判断したものについては、支障の発生時期なども検証しながら繰延べを実施しております。

## <繰延べによる影響度の判断基準の例>

- (A) 公衆災害を誘発するリスクが高い
- (B) 大規模・長期の供給（発電）支障に至るリスクが高い
- (C) 法令違反に繋がるリスクが高い

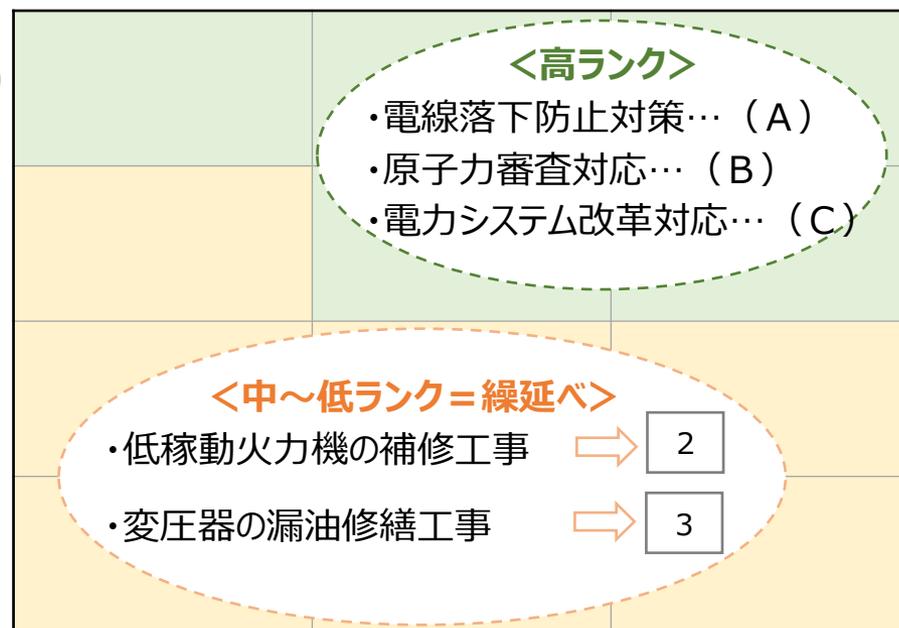
- (a) 公衆災害を誘発しない
- (b) 即座に供給・発電支障には至らない
- (c) 法令違反にはあたらない

大

影響度

小

## <影響度×発生可能性別のマッピングイメージ>



低

1年以内の発生可能性

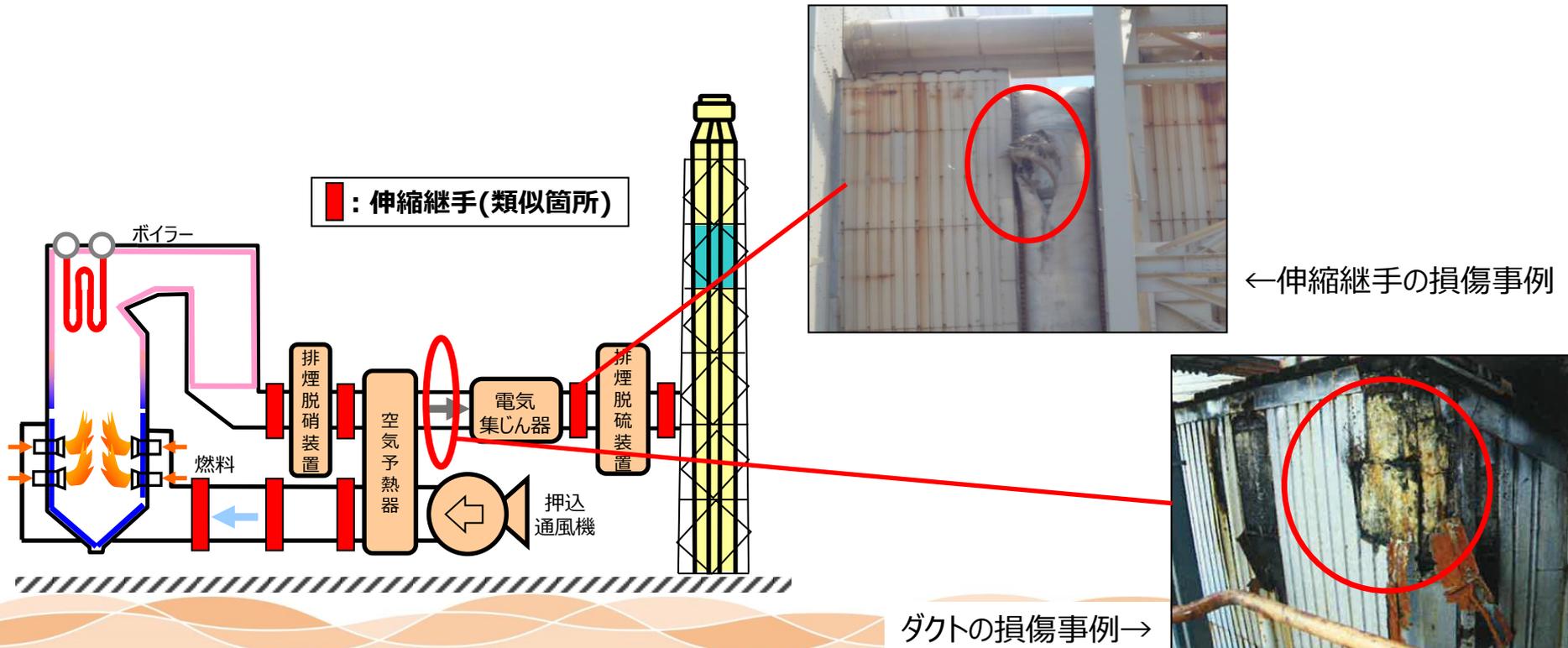
高

※緊急的な支出抑制・繰延べ（964億円）の費目別内訳は、  
 修繕費 495億円、設備投資関連費用 138億円、その他経費等 333億円

# 緊急避難的な繰延べの実施事例①

## 事例 1) 低稼動火力機の補修工事

- これまで、火力発電所の煙道（ボイラーから煙突までの排ガスの通り道）のうち、長期間の使用に伴う熱収縮により損傷する箇所（例：伸縮継手）や、腐食や劣化により損傷する箇所（例：ダクト）について、発電支障等の未然防止の観点から、計画的な補修を実施してきました。
- 足元の収支および需給状況等を踏まえ、日常点検による監視を強化した上で、排ガスの漏洩が発生した場合でも、板金補修など必要最小限の応急措置によって発電支障に繋がるトラブルを防ぐことができると判断した箇所については、修繕工事を短期的に繰り延べております。



## 事例 2) 変圧器等の漏油修繕工事

- これまで、変圧器等の修繕にあたっては、事故障害・供給支障の未然防止の観点から、漏油の発生を確認し次第、油滲みの程度や少量の油滴を除いて、漏油修理等の工事を実施してきました。
- 至近では、油吸着シートによる応急処置は行うものの、現場調査を重ね、油滴発生の状況等をよりきめ細かく評価したうえで、即座に機器の機能喪失に至らないと判断したものについては、漏油量の状態監視を継続することで、修繕工事を短期的に繰り延べています。

変圧器漏油の事例 ↓



油吸着シートの事例 →

# 飯田オブザーバーからのご質問への回答について

✓ 前回飯田オブザーバーから頂戴したご質問につきまして、以下の通り回答致します。

## 3. 経営効率化の実績について

⑤第14回電気料金審査委員会（2013年1月10日）資料7-2の19では、スマートメーター導入による3か年効果を表3のように見込んだ。実績は？

表3：スマートメーター導入による人件費・委託費の効率化 単位：百万円

年 度	2013	2014	2015
導入効果の見込み	▲518	▲805	▲1,145
導入による要員減少の見込み	▲178	▲305	▲517
合計	▲696	▲1,110	▲1,662
導入効果の実績	▲860	▲1,036	▲362
導入による要員減少の実績	▲566	▲879	▲1,102
合計	▲1,426	▲1,915	▲1,464

今回回答範囲